

おえ案ですか

題字は古川名誉院長



テレビ埼玉

ういず安心応援団で当病院が紹介されました



産婦人科部長 丸山 正統

先日、テレビ埼玉で丸山記念総合病院が紹介されました。

丸山記念総合病院では古くから産婦人科診療に力を入れており、現在も診療の中の柱の一つとなっています。産婦人科は近年担い手が減っており近隣の救急病院でも産婦人科疾患に対応していない施設や、手術が必要な救急疾患に対応が難しい施設も多く、当院では婦人科救急疾患には可能な限り対応しています。産科も総合病院の特色を生かし、合併症のある妊婦さんにも対応しています。

婦人科診療では不妊症と低侵襲手術に特に力を

入れています。特に、子宮鏡検査、手術は全国でも有数の水準を誇っています。不妊治療の領域では体外受精や顕微授精といった、高度生殖医療にも対応し、良好な成績を上げています。また不妊治療は妊娠がゴールではなく、お産をしてお母さんが赤ちゃんを無事抱くことがゴールだと考えています。不妊治療後の妊娠は妊娠中に合併症がおこることも少なくないため、注意が必要です。当院では不妊治療から引き続いて分娩まで責任をもってフォローしています。

これからも、地域の産婦人科診療を支えて行く努力を続けて参りますので、よろしくお願いたします。



テレ玉にて平成 28 年 1 月 29 日（金）放送 情報生番組「ごごたま」内の“ういず安心応援団コーナー”にて紹介 © 2016 テレビ埼玉

丸山記念総合病院の理念・基本方針

理念

1. 安全な医療の提供
2. 誠意ある対応
3. 地域との関わり合い

基本方針

1. 接遇に心がけ、心の通う患者様本位の医療を進めます。
2. 院内のチーム連携により質の高い安全な医療を進めます。
3. 地域の救急医療の中心的役割を担います。
4. 地域との連携を積極的に進めます。
5. 患者様を尊重し情報の開示と十分な説明に努めます。
6. 地域に貢献できる医療人を目指します。
7. 医療の質を確保するため病院の経営健全化に努めます。

部署 紹介



消化器科

消化器科部長 石井 博

はじめに

当院消化器科の特徴は、消化器科外来担当医が全員消化器外科医で構成されている点にあると考えられます。米川甫病院長（火、木、金曜日担当）をはじめとし、常勤医師とし



消化器科スタッフ [前 列左から 米川病院長、石井、
二列目左から 岩上、矢澤、栗山、広田、
三列目左から 長山、大堀]

て石井（火、木、金、第1・第3・第5土、第2・第4・第5日曜日）、長山医師（月、土、第3・第5日曜日）、大堀医師（月、土、日曜日）および非

常勤医師として広田医師（木曜日）が担当し、全員が消化器外科医で、内視鏡検査や手術などの診療を行っています。なお、消化器内科医として大西医師と嶋田医師が内科外来を担当しています。当院消化器科では消化器外科医が診療を行いますので、診断から検査、手術・治療までを一貫して担当することが可能です。また、外科の大畑副院長、佐野医師、高瀬医師とのカンファレンスは週2回行われ、毎週月曜日に術前症例検討および術後結果報告、毎週木曜日に病棟カンファレンスを行い、丸山理事長および米川病院長にも参加していただき、専門領域に応じたきめ細かな対応をチーム医療として行うように心がけています。また、IVR治療の専門家である昭和大学 藤が丘病院 放射線科部長 橋本東児先生に毎週金曜日に来ていただき、放射線画像診断（血管造影検査やエコー/CT下生検）、血管系IVR（経皮的肝動脈塞栓術やCVポート挿入など）、非血管系IVR（経皮経肝胆管および胆嚢ドレナージや胆管金属ステント挿入など）も積極的に施行されています。以後に、当院消化器科として主に扱う疾患の内容や治療成績などを臓器別に上部消化管疾患（食道、胃、十二指腸の病気）、下部消化管疾患（小腸、大腸、直腸の病気）、肝胆膵疾患およびIVR治療に分けて紹介していきます。



上部消化管疾患（食道、胃、十二指腸の病気）

上部消化管内視鏡検査は休診日を除いて毎日施行しています。検査担当医は消化器科医師、外科の大畑副



院長、高瀬医師および大西医師で、平成26年1月から12月までの1年間の上部消化管内視鏡検査件数は2,736件でした。診断のみならず

内視鏡的治療も積極的に施行しており、出血症例に対する内視鏡的消化管止血術は38例施行されました。その他の内視鏡的治療として、食道静脈瘤結紮術、狭窄拡張術、胃瘻造設および交換などが施行され、多岐にわたります。また、最新の治療として早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）も13例施行

され、進行癌に対するステント留置術も 11 例施行されました。胃・十二指腸に対する手術は、外科の大畑副院長、高瀬医師も加わり施行されています。平成 26 年 1 月から 12 月までの 1 年間に施行された胃癌に対する手術は 35 例で、胃全摘術 7 例（うち腹腔鏡下 3 例）、幽門

側胃切除術 13 例（うち腹腔鏡下 6 例）、腹腔鏡下噴門側胃切除術 1 例で、適応に応じて腹腔鏡下手術を積極的に導入しています。



下部消化管疾患（小腸、大腸、直腸の病気）

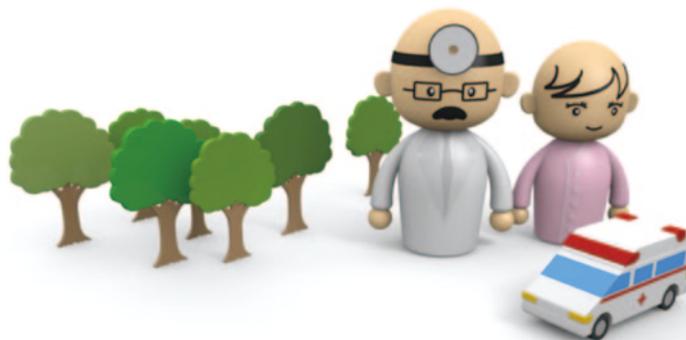
大腸内視鏡検査も休診日を除いて毎日施行しています。検査担当医は消化器科医師、外科の大畑副院長、高瀬医師、大西医師および二瓶医師（非常勤）で、平成 26 年 1 月から 12 月までの 1 年間の大腸内視鏡検査件数は 1,191 件でした。診断のみならず内視鏡的治療

1 年間に施行された虫垂、結腸・直腸に対する手術は 49 例に施行され、虫垂切除術 12 例（うち腹腔鏡下 6 例）、結腸癌手術 24 例（うち腹腔鏡下 6 例）、直腸癌手術 8 例（うち腹腔鏡下 3 例）、その他 5 例で、適応に応じて腹腔鏡下手術を積極的に導入しています。



も積極的に施行しており、内視鏡的ポリープ切除術 230 例、粘膜切除術 45 例、内視鏡的粘膜下層剥離術

5 例、経肛門的イレウス管挿入術も 2 例施行されました。虫垂、結腸・直腸に対する手術は、外科の大畑副院長、高瀬医師も加わり施行されています。平成 26 年 1 月から 12 月までの





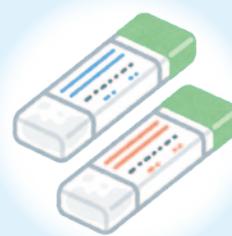
肝胆膵疾患および I V R 治療

肝胆膵疾患の代表的な良性疾病として胆石症があげられます。胆石発作は脂肪食の過食後の急激な腹痛や、黄疸（皮膚や



眼球が黄染し、尿が褐色となる）、発熱などの症状を呈します。結石の部位により、胆嚢結石、総胆管結石、肝内結石に分類されますが、画像診断技術の進歩に伴い正確な診断が可能です。まず、腹部超音波検査で胆嚢内の結石を確認し、腹部 CT 検査や磁気共鳴コンピュータ（MRCP）検査で治療方針を決定します。治療法は、当院では可能な限り侵襲の少ない方法を選択しています。総胆管結石では内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）検査を行います。この検査は治療も可能な優れた検査法で総胆管結石の治療が可能です。経口的に十二指腸まで内視鏡を挿入し、胆管と膵管に造影剤を注入しレントゲンで撮影し、胆管開口部のファーター乳頭部を特殊なナイフで切開し（内視鏡的乳頭切開術）、結石を摘出します。さらに、急性胆管炎や黄疸を伴う場合

は内視鏡的胆道ステント留置術も施行可能です。当院で平成 26 年 1 月から 12 月までの 1 年間に施行された内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）検査件数は 240 件で、総胆管結石に対する内視鏡的乳頭切開術 67 件、内視鏡的胆道ステント留置術 133 件、内視鏡的胆道結石除去術は 124 件施行されました。胆嚢結石の手術は原則として腹腔鏡下胆嚢摘出術を行います。全身麻酔下に臍下部に小切開（15mm）を行い腹腔鏡を挿入し、腹腔内を観察しつつ 2 箇所ないし 3 箇所に 5mm の小切開を加え、電気メスや超音波凝固切開装置を用いて胆嚢を摘出します。創部が小さいので術後の疼痛は従来の開腹手術に比べて格段に少なく、手術の翌日より離床が可能で 4 - 5 日で退院可能です。当院で平成 26 年 1 月から 12 月まで



の 1 年間に施行された胆石症手術件数は 29 例のうち腹腔鏡下胆嚢摘出術は 26 例施行されました。

肝胆膵疾患の悪性疾患として肝癌、胆道癌（胆嚢および胆管癌）および膵癌がありますが、I V R 治療（昭和大学 藤が丘病院 放射線科部長 橋本東児先生担当）を駆使しつつ、切除可能例では積極的に手術療法も施行しています。平成 26 年 1 月から 12 月までの 1 年間に施行された肝癌に対する I V R 治療は 35 例で経皮的肝動脈塞栓術 31 例、ラジオ波凝固療法は 4 例施行されました。また、胆道癌お



よび膵癌による閉塞性黄疸に対する経皮経肝胆管ドレナージは 14 例、胆管金属ステント留置術は経内視鏡的ルート 5 例、経皮的ルートで 8 例施行されました。膵癌および膵管内乳頭粘液性腫瘍に対する手術として膵頭十二指腸切除術 3 例、膵体尾部切除術は 3 例施行されました。

以上、消化器科の部署紹介について述べて

きましたが、消化器症状を有する場合や健診などで異常を指摘された場合など、消化器疾患は頻度の高い病気と考えられます。また、消化器科には、心優しく美しい看護師と事務スタッフが揃っておりますので、お気軽に消化器外来を受診するよう、宜しく願いいたします。

新任医師紹介

①出身大学・卒業年度 ②診療担当科 ③資格等 ④趣味



織田 徹也

(おだ てつや)

2016年1月より整形外科に着任いたしました。

地元の岩槻で、地域医療に貢献できることを嬉しく思っています。

高齢化社会がさらに進行していくなか、健康な高齢者になっていただけるようお役に立てればと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

- ①埼玉医科大学 医学部 平成 13 年卒業
- ②整形外科
- ③資格；日本整形外科学会専門医、日本体育協会公認スポーツドクター
専門；人工関節外科、股関節外科、骨折治療
- ④スポーツ観戦（サッカー、野球）、水泳、釣り、ゴルフ



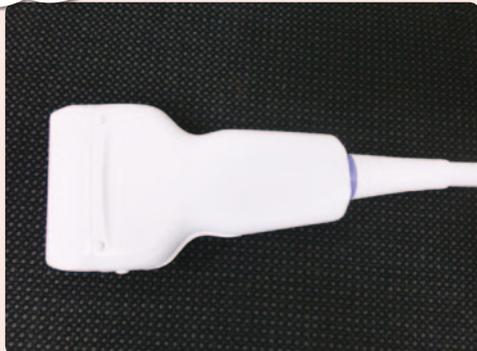
検査だより

乳腺超音波検査 について

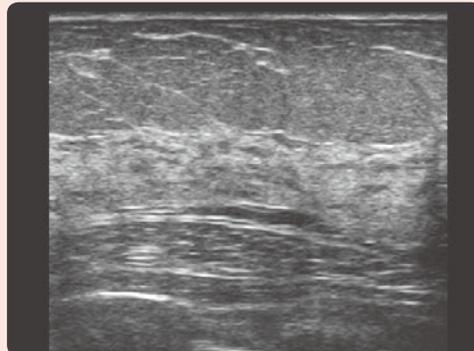
乳腺超音波検査とは、超音波を出すプローブと呼ばれる装置を乳房に当てて画像化し、乳がんや乳房疾患の発見や乳房の状態を調べる検査です。



超音波装置；プロサウンドα7
(株式会社日立製作所製)



プローブ



乳腺超音波画像



メリット

検査は痛みなどの負担はありません。

放射線を浴びることはないため、妊娠中でも検査ができます。

触れることができない小さいしこりを発見する事ができます。



デメリット

しこりのできないタイプの乳がんは、検出しにくいと言われています。

乳房が大きい人の場合、深部の組織まで超音波が届かない事があります。

石灰化の検出はマンモグラフィーが優位です。



乳がんの検査は超音波検査の他にマンモグラフィー検査があり、それぞれメリットデメリットがあります。併用することで、より精度の高い検査ができます。

当院では女性の臨床検査技師4名で行っていますので、心身の負担が少なく検査を受けて頂けるのではないかと思います。

臨床検査技師 齊藤千波 山本杏子



担当技師



「ひじき」は鉄分の宝庫？

2015年12月25日。

朝の通勤電車内、携帯でニュースを閲覧している私に突然ソレはやってきました。

『ひじきの鉄分 9分の1に！』



あまりの驚きに、満員電車内という事も忘れ「えっ！」と声をあげてしまったほどです。鉄分の宝庫や優等生として君臨していたひじき。貧血予防のレシピ本や栄養満点惣菜として利用されてきたひじき。私は、この出来事を「ひじきショック」と名付けました。

そもそも、このことが明らかになったのは文部科学省が作成している「日本食品標準成分表」（通称：食品成分表[※]）が改定されたからです。ひじきの場合、製造工程で使用する釜の主流が鉄製からステンレス製になったことで、含まれる鉄分が大幅に減りました。なんと、100gあたり55mgあった鉄分が



6.2mgに。これには、文科省担当の方も「非常に驚いた！」とコメントされていました。しかし、店頭に置かれている「ひじき」には製造法（使用した鍋）までは表記されていません。今後、要望が高まれば、表記されるようになるかもしれませんね。また、カルシウムなどのほかのミネラル成分は変わらないそうです。

話は変わりますが、数年前ひじきに含まれる「ヒ素」が他の食品に比べ高いという事も話題となりました。十分な浸水（1時間以上）や茹でる事によって6割以上のヒ素が溶け出すそうです。農林水産省のホームページでは、バランスの良い食事をとっていれば問題ないと示しています。



※食品成分表とは…

食品にどれだけ栄養素が含まれているかを公表したもの。1950年に始まり、現在5年に1回改定している。今回の大幅改定は15年振り。学校給食、病院などの給食施設で使用されるほか、公共資料作成、教育現場、研究などのさまざまな分野で利用されている。公表当時（1950年）の掲載食品数は538品。今回の改定（2015年）では2,191品。



気候や環境の変化のほかに、風習や作業工程により食品の栄養素は変化しつつあります。今後も、食品成分表の改定に伴い、驚きの事実が出てくるかもしれませんね。

管理栄養士 城本幸代

2016年 (平成28年) 7月～12月 丸山記念総合病院 《休診日カレンダー》

- 休診日：毎週水曜日、毎月第一日曜日、祝日 ■ 赤字は休診日です。
- お盆の時期と年末につきましては、当カレンダーをご参照ください。
- 当院ホームページ <http://www.maruyama-hp.or.jp/>にも掲載しております。

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

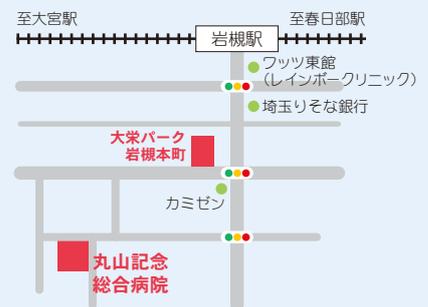
12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

★外来へお車で越しの皆様へ

外来受診の患者様用に「大栄パーク岩槻本町」（当院契約駐車場）をご利用いただけます。当契約駐車場は無料で（最大3時間まで）ご利用できますので、駐車券と診察券と一緒に病院会計時にご提示ください。

※誠に申し訳ございませんが、お見舞いにお越しの方は、病院立体駐車場をご利用ください。なお、お見舞い時間は午後1時～午後8時となっております。



節電の取り組み

当院では、院内の照明を一部消灯するなど、節電に努めております。ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願い致します。



広報誌“お元気ですか”第21号 平成28年6月 丸山記念総合病院 広報委員会

◆さいたま市岩槻区本町2-10-5 ◆TEL048-757-3511 ◆FAX048-756-6061 ◆URL <http://www.maruyama-hp.or.jp/>

皆様の健康をお預かりする、地域に愛される丸山記念総合病院であるために職員一丸となって、努力いたします。この広報誌へのご意見、ご感想等をお待ちしております。 広報委員会

医療法人 慈正会

丸山記念総合病院

日本医療機能評価機構認定病院

